

1

Can-Do型授業とは？

ボランティア日本語教室などが陥りやすい指導法

- ① 文法説明が主となりやすい
- ② ボランティア日本語教育の意義が十分、把握されていない
- ③ 実技・ケーススタディに十分な時間が取られていない
- ④ “Can-do”認識が強調されていない
- ⑤ “Can-do”型授業を教師も経験していない
- ⑥ 文型と文法の差異がよく認識されていない

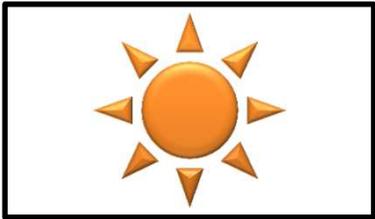


生活に即役立つ「Can-do型授業」の提案

2

実例 場面提示(買い物をする)

●希望するものを買うことができる



3F	本 		
2F			ATM <small>zabu</small>
1F			
B1	食料品・お惣菜 		

3

場面絞り込みと動機づけ



4

スキット提示 ①



A: すみません。

B: はい、いらっしゃいませ。

A: これ、しちゃくしてもいいですか？

B: はい、こちらでどうぞ。

5

スキット提示 ②

A: すみません。

B: はい、いかがですか？

A: ちょっとちいさいです。
もうすこしおおきいの
ありますか？

B: はい、こちらになります。

もうしわけありません。
こちらだけになります。



6

例文のいろいろな展開

- これ、

きて
はいて
かぶって

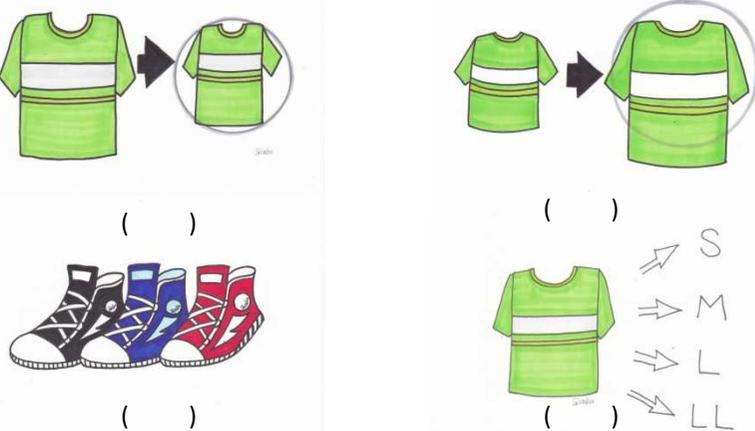
 みても いいですか？
- ジョギングシューズがほしいんですが
どれが おすすめ ですか？
- じゃ、

これにします。
これください。
- すみません、

もうちょっと みてみます。
ほかのも みてみます。

7

「振り返りシート」の例

①あたらしく べんきょうした ことば	③評 価
 <p>()</p> <p>()</p> <p>()</p> <p>()</p>	
②はなしてみよう	④指導者のコメント
 <p>A:</p> <p>B:</p> <p>A:</p> <p>B:</p>	<p>「すみません」が、とてもじょうずでした。 「しちやく」が「ちちやく」になりますね。 もうすこしれんしゅうしましょう。</p> <p style="text-align: right;">担当: 佐藤</p>

8

振り返りシートの意義

- ・背景にある理念
「ティーチング」から「ラーニング」(学習者中心教育)への転換
「教員が何を教えるか」から
「学習者が何を学びとるか」への視点の転換
- ・学習者自身が学んでいることを意識化し、確認していく作業
- ・何を評価の目的とするか、だれのための評価とするべきか、
どう活用されることを期待するか、を明確にするため
- ・学習者が自身の日本語学習状況を把握し、学習を継続する
ための評価
- ・学習者が自分の日本語学習を振り返ることができるように
することが必要

聖徳大学

振り仮名シートを活用したCase

事例

